

当番校挨拶

追手門学院大学 学長
真銅 正宏

私立大学図書館協会第83回総会・研究大会の開催にあたり、当番校の追手門学院大学を代表して一言ご挨拶申し上げます。歴史ある私立大学図書館協会の研究大会が、本学の茨木総持寺キャンパスで開催されますことを、大変光栄に存じます。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、大学におけるオンラインを活用した授業は、かつてないほどの拡がりを見せたと同時に、先生方のご努力もあり、その技術や内容も高度化されました。その一方で、対面授業の重要性も改めて確認されたところです。オンライン授業が定着した今こそ、大学は、それぞれのスタイルの適不適を考慮し、教育効果に基づいて、学生一人ひとりに最適な学びの環境を提供する取組が求められています。本学でも、この春学期は、教員へのアンケートに基づき、13パーセントほどのクラスでオンライン授業を継続しております。

本学は、「高い志を持って主体的に学び、新しい社会の創出・発展に協働的に関わることのできる資質・能力・人間性を有する人物を育成する」という教育理念のもと、学生自らが行動して学ぶことで実践的な力をつける学修手法（WIL）と、ICTなどの活用も含め、教育効果の最大化を目指し、学修者本位の教育を実現する教育手法（MATCH）を実施しています。学生一人ひとりに最適な学びの環境を提供するに際し、大学図書館の存在が欠かせないことは言うまでもありません。

本研究大会では「学生主体の教育への転換と大学図書館DX」をテーマに掲げ、利用者による主体的な学びを実現するために、これからの大学図書館の在り方について討議されるとのことで、誠に時宜に適ったテーマだと存じます。

私立大学図書館協会のますますのご発展と、加盟大学図書館のさらなるご発展を祈念し、挨拶いたします。

<追手門学院大学 大阪茨木総持寺キャンパス ALUMNI LIBRARY>

